

高速安協会員各位

新潟県高速道路交通安全協議会
新潟県高速道路交通警察隊

ハイウェイ通信

No. 7

◎ 交通事故発生状況（令和7年6月末日現在概数）

区分	高速道路の交通事故発生状況			県内の交通事故発生状況			
	令和7年	前年比増減数	前年比増減率 (%)	令和7年	前年比増減数	前年比増減率 (%)	
人身事故	発生件数	27	10	58.8	1,153	-130	-10.1
	死者数	3	3	0.0	24	-6	-20.0
	負傷者数	45	19	73.1	1,316	-147	-10.0
物件事故	1,099	213	24.0	27,412	2,830	11.5	

※数値は速報値である。

◎ 大雨に遭遇した場合の注意点！

近年、気候変動の影響により、突発的な大雨や豪雨の発生頻度が増えています。

高速道路を走行中に大雨に遭遇した場合、冷静な判断と適切な対応が求められますので、以下の点に注意して安全運転に努めましょう。

・ 速度抑制と車間距離の確保

速度を落として車間距離を確保すれば、万が一前方車両が急に減速した場合にも、余裕を持って対処できます。

・ ライトの点灯

前方の視界を確保しやすくなるだけでなく、自車の存在を他車に知らせることが出来ます。

・ ハイドロプレーニング現象への対策

万が一発生した場合は、アクセルから足を離してハンドルをまっすぐに保ち、ブレーキは踏まずにタイヤのグリップが戻るのを待ちましょう。

・ トンネル出口での突風対策

トンネル出口に近づく場合は、速度を抑え、突風に備えてしっかりとハンドルを握りましょう。

・ 早めにSA・PAに避難

雨が弱まるまで待機すれば、交通事故のリスクを減らせます。

・ 高速道路上で車を停めない

高速道路上での停車は、道路交通法により原則禁止されています。

視界が悪い場合でも停車はせず、速度を落としたり、早めにSA・PA等に避難したりしましょう。

・ 最新情報を確認

大雨時は道路状況が刻々と変化するため、ハイウェイラジオや道路情報板等を常に確認し、必要に応じてルート変更を検討しましょう。

◎ 令和7年「夏の交通事故防止運動」の実施

今年も厳しい暑さが予測されるなど、夏特有の交通事故が発生するこれからの時期、自らが「事故を起こさない」「事故に遭わない」ために、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践しましょう。

(1) 運動期間 令和7年7月22日(火)から7月31日(木)までの10日間

(2) 運動のスローガン 『 急がずに 暑い夏こそ ゆずり愛 (あい) 』

(3) 運動の重点 ・横断歩行者の交通事故防止 ～渡るよサインの活用～ ・疲労運転の防止 ・飲酒運転の根絶



編集

協議会に対する連絡、ご意見を受け付けています。 新潟県高速道路交通安全協議会（事務局 担当 比企・村山）

電話番号 025-287-4433

e-mail: niigatakousoku-ankyo@chive.ocn.ne.jp

FAX番号 025-286-3460

URL: <http://niigata-kousoku-ankyo.com>